



2011年6月21日

お客様向け資料

BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社

## ムーディーズ・インベスターズ・サービスによるブラジル国債の格付けの引き上げについて

2011年6月20日（現地）、大手格付け機関ムーディーズ・インベスターズ・サービス（以下、ムーディーズ）は、ブラジル国債の格付けを Baa3 から Baa2 に 1 段階引き上げたと発表しました。

ムーディーズは、2009年9月にブラジル国債の格付けを Ba1 から投資適格となる Baa3 に引き上げており、今年3月の時点で、「Baa3」となっている同国の債務格付けを引き上げるかどうかを今年の夏までに決める見通しだとしていました。

投資適格取得後の格上げは、今年4月のフィッチ・レーティングスに続くものです。

ムーディーズは声明で、格上げの理由として、規律ある財政政策の採用を高く評価しており、これが、ブラジルの公的債務比率が低下傾向を辿るとの予想を示したほか、持続可能な経済成長に資するとしています。

さらに、外貨準備高が 3,330 億米ドル（出所：ブラジル中央銀行、2011年5月末現在）と潤沢なことや、ブラジルの銀行の財務体質が相対的に健全であること、対外債務が限定的であること（ブラジルは対外債務の純債権国）から、ブラジル経済は柔軟性が高いとの認識を示しています。

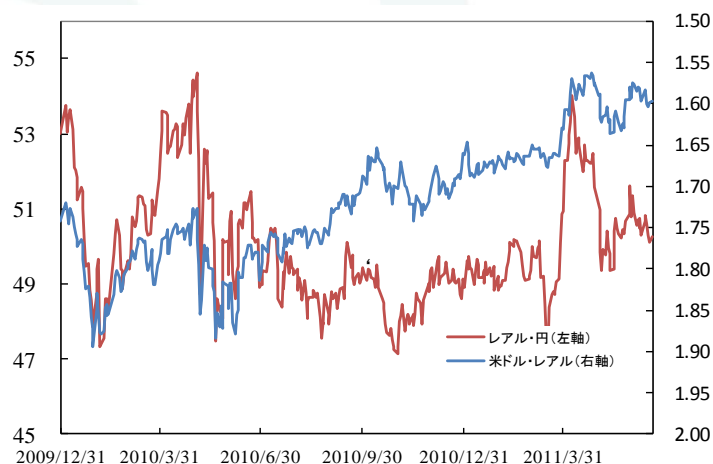
また、ムーディーズはブラジル国債の格付け見通しを、引き続き「ポジティブ」で維持しています。

ブラジル経済は、世界的な景気後退からいち早く回復し、2010年のGDP成長率は7.5%成長を達成しましたが、大手格付け機関各社は、ブラジルのソブリン格付けを投資適格に引き上げた後は、ルーラ大統領の後任であるジルマ・ルセフ大統領の経済運営を注視する姿勢をとってきました。

今年1月にブラジル大統領に就任したルセフ大統領は、歳出削減案を含む規律ある財政政策路線を採っており、ブラジルの2011年4月末の公的部門純債務対GDP比は39.8%と対GDP比で40%を切る水準まで低下、ブラジル中央銀行幹部も年末には同38%まで低下するとの見通しを示しています。

### 通貨レアルの推移

(円) (2008年1月2日 - 2011年6月20日) (レアル)



### ブラジル外貨建て国債の格付け推移

	ムーディーズ	S&P	フィッチ
2011年6月20日	Baa2		
2011年4月4日			BBB
2009年9月22日	Baa3		
2008年5月29日			BBB-
2008年4月30日		BBB-	
2007年8月23日	Ba1		
2007年5月16日		BB+	
2007年5月10日			BB+
2006年8月31日	Ba2		
2006年6月28日			BB
2006年2月28日		BB	
2005年10月12日	Ba3		

本資料は、BNP パリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する情報を提供することを目的として、2011年6月21日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。